

成形圖說

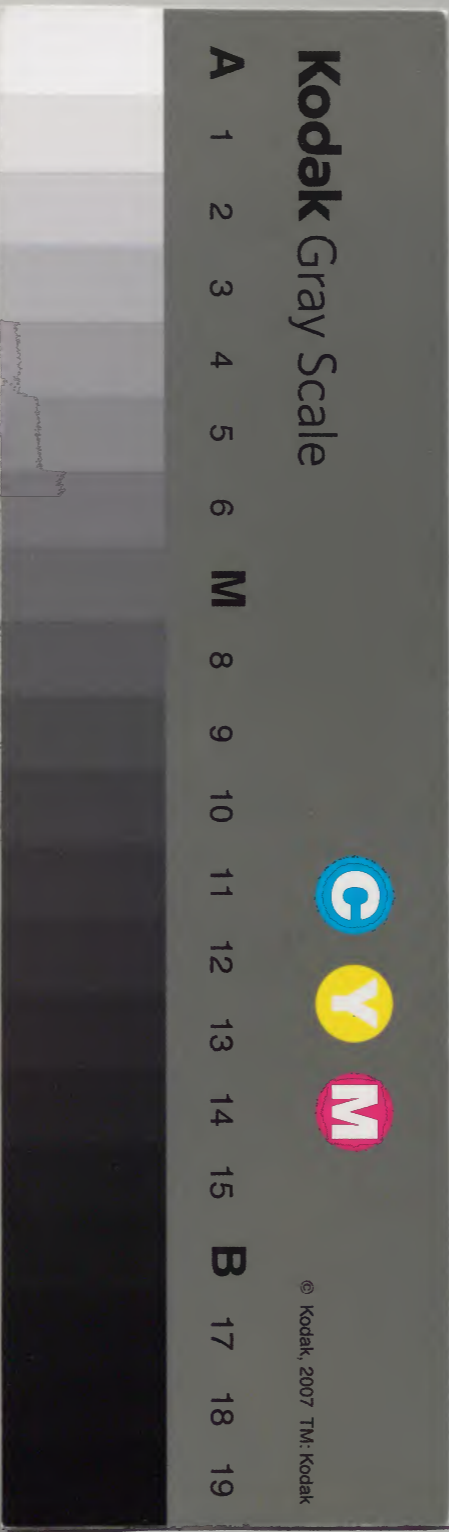
菜蔬部

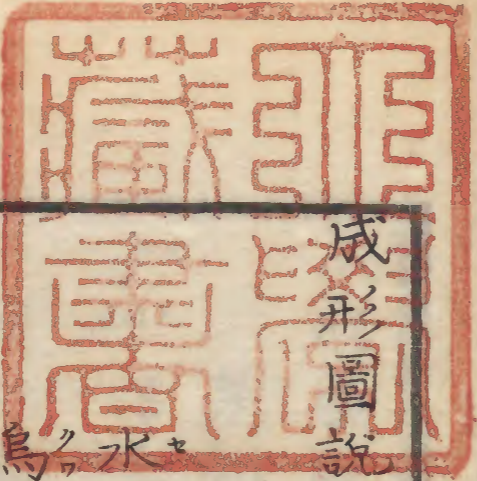
二十九

三〇	六一	二一八	和書門
册	函	號	類

一九六	三一八	和書
函架	册號	類

內閣文庫	
番號	和 21180
冊數	30 (29)
函號	196 97





成形圖說卷之二十九

目錄

水芹 セリ 烏羊 ウツ

慈姑 チゴ

蓴 トウ

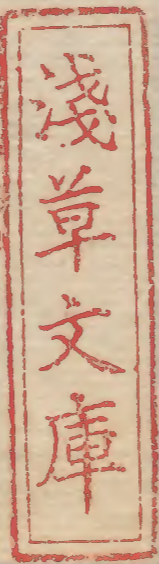
山葵 シカヅ

辣米菜 カキ

附 岳芥 トケカイ



成形圖說卷之二十九



成形圖說卷之二十九

菜部 水菜類

世利書紀○又神代紀○曾利○河原和訓菜に世利と

通加通美の本三葉芥の○按今美與利州長平和名三

官私記左右近蔵入野里海の食物と細進すの引て

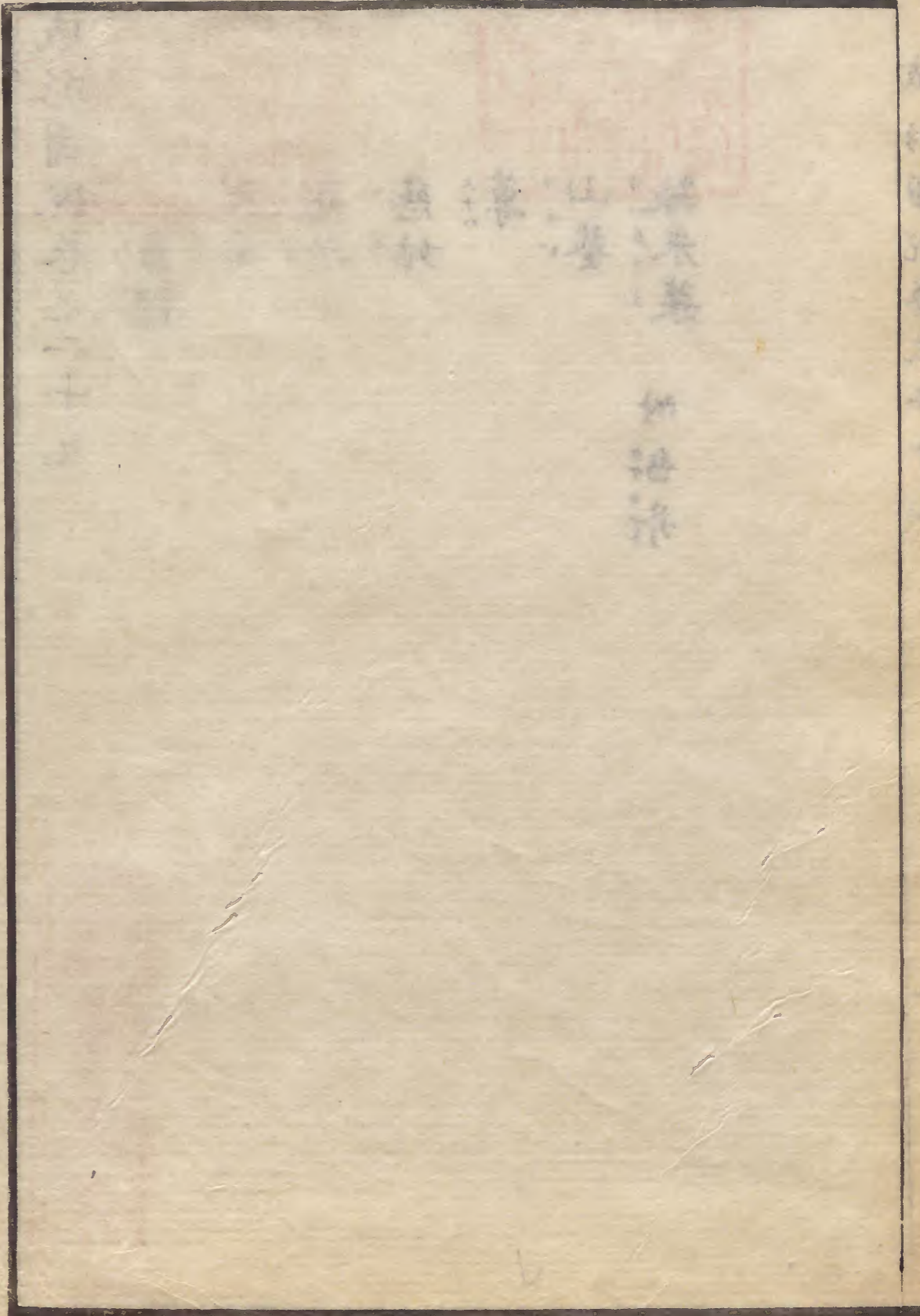
日三ヨリ此ハ芥の葉を乃也葉摘川とみ天照

古仲と崇て此ハ芥の葉を乃也葉摘川とみ天照

乃名をいふ一ハ芥の葉を乃也葉摘川とみ天照

方とておろせしとてあてり川流をさりて

成形圖說卷之二十九 菜部 水菜類 川菜 菜と喜式水神和訓菜



子芥の名とハ彫古今集の川菜州を是と祝ぬと室の
療と書或馬樂に小芥は白州深秘鈔○と花一本の根
花とお根志ろむ子摘也根向等の知河○芥本根
州と何の摘増州集根向等の知河○芥本根
み附の能因根芥和訓芥根と河の芥
安佐良歌枕根芥和訓芥根と河の芥
し田芥の時は款芥多小芥あどは田乃州とあり
水田子生る時と指せり也○芥あどは田乃州とあり
水急あ録○呂氏春秋菜之美者有雲夢之芥芥亦作
水芥別録○呂氏春秋菜之美者有雲夢之芥芥亦作
葵の名亦此也楚有蕪州蕪縣多産芥故字从斤楚
了出る身よ芥菜薄采其芥注芥水菜也楚葵文說
苦蘄水英本以州上水茹水菜物異名

番名ペートルセーリ
延喜内膳式子芥四把惟四升自正又曰營芥一段苗五石
二月殖と河是代奉用の菜あれば別子芥種られうあ
とん也然上自正月迄六月と河と二月殖とつらハ
来歳乃稼あるみやみ此地三四月をこねこねる根茎乃老
て風顔劣なるのとあぐ水煙の卵とさほの憂河○
本州の説ハ水芥早芥として地深ま生ゆと水芥といひ
平地ままると早芥といふし河れど共み溼潤ハる地ハ
らでハ膏がし春菜とば芥の菜葉として正月入月の
糝コナキみ入色のそ芳香と欣賞ハ出雲風土記稻河出芥とん



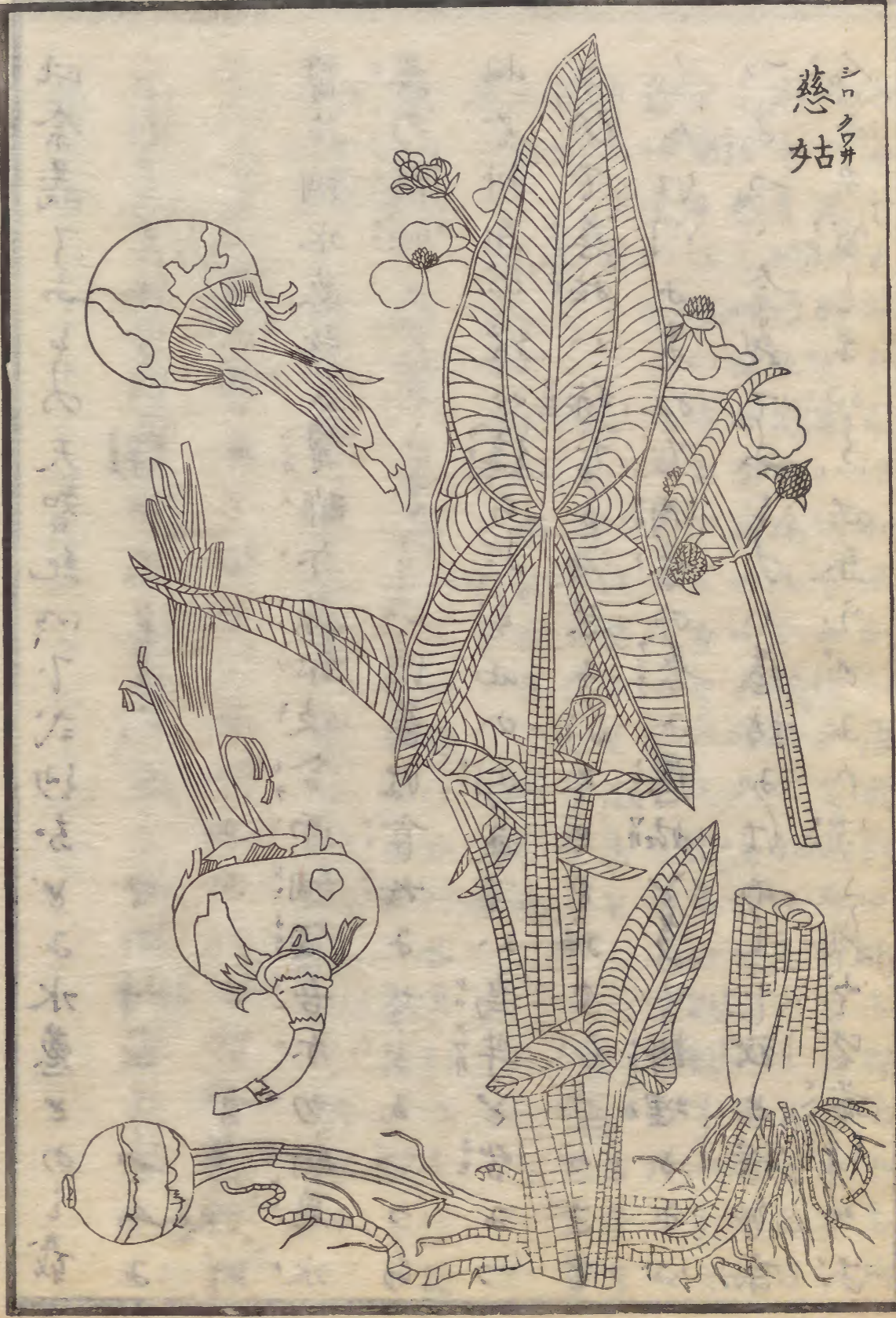
あつ玩賞ハシラヒ子コ培カるルの一ヒト坑ツツあり○柳ヤナギ芥カイハハ芥カイのノ柳ヤナギハハ似ニ似ニるルのノ味アジ厚コシしシ山ヤマ芥カイてテふフとト多タくク也ヤ刻キリ缺コト多タしシ是コノハハ柔ユル子コ肥コユるル地チ子コ生ナじジ成ナりリてテ必カナラ別ワカ種タマのノハハ何ナニとトもモ紅ベニ毛モウ芥カイハハ根ネ色イロ蒼アヲしシ蕃キヌ名ナセセルルデデリリ一ヒト是コノ也ヤ○此コノのノ精セイとト書カひヒ氣キとト書カしシ伏フシ熱ネツとト去サるル石イシ藥ヤク此コノ毒ドクとト殺コロしシ此コノ他ホカ王オウ治チ多タしシ豈ナラ下シタ不フとト亦モ次ツギべベらラんンやヤ本ホ州シュウ弘コウ景ケイ云クニ論ロ其キ主シュ治チ合カ在ニ列リ子コ云ク宋ソウ有リ田テン父フ暨シ春シュン東トウ作サ自ミ曝ハク於ニ日ニチ不フ知ラ天テン下カ之ノ有リ廣コウ厦ハ隩ウ室シツ綿メン纒ケン狐コ貉ダク顧コ謂フ其キ妻メ曰ク日ニチ之ノ暄アツク入ル莫ナク知ラ者ヲ以テ獻セ吾ガ君ニ當ル有リ厚コウ賞シヤウ也ヤ其キ室シツ告ケ之ニ曰ク昔ムカシ人ニ有リ美ミ戎ニ葵アヅ甘カン泉セン莖ケイ芥カイ萍ヘイ子コ對シ鄉コウ豪コウ稱ス之ヲ鄉コウ豪コウ取テ嘗シ之ヲ蝻サシ於ニ口ニ慘イ於ニ腹ハク衆シュウ晒シ之ヲ又モ嵇シ叔シツ夜ヤ與ニ山サン巨キョ源ゲン絶ツツ

交書云野人有快曝背而美芥子欲献之至尊後世遂有献芥之說實無所出嵇叔夜合而言之耳○萬葉集天平元年班田之時使從山背國贈薩妙觀命婦等所歌副芥子裏葛さほひるはさひて珍羽玉の氷れ味子採る芥これ○紀納言池亭記子菜園八之二芥田七之一蝸安其舍風樂其縫○其冬のおは芥の葉に徒乃菘子と着く視どや刃えど徳てあれと食へば患と多んぬ母素戔の頃よりハ食ふべし張仲景が金匱要略に春夏之交を過て芥菜月時穀粟と過りて泥ん朝と穀と雜に食はば芥の毒と消して肥健く亦自遠の姓み慣ふあらしぬ

名希しと好むを和名引唐韻、口中、上、膠也、和名阿
 岐と云ふは乃玄鳥の尾の如く、又、燕尾、料、剪、刀、料、如、ど、い
 ふと云ふは乃玄鳥の尾の如く、又、燕尾、料、剪、刀、料、如、ど、い
 しと云ふは乃玄鳥の尾の如く、又、燕尾、料、剪、刀、料、如、ど、い
 と云ふは乃玄鳥の尾の如く、又、燕尾、料、剪、刀、料、如、ど、い
 慈姑、葉、の、状、より、出、し、み、は、み、ら、じ、り、唯、そ、の、假、字、の、た、り、を、此、一
 法、の、子、を、く、天、牟、受、但、鳥、み、て、面、高、と、小、奈、義、○、万、葉、集、一
 刀、州、花、久、和、為、州、和、州、菜、剪、刀、面、破、越、北、奈、義、○、万、葉、集、一
 慈、姑、華、日、藉、姑、水、萍、姑、一、名、水、洋、と、本、州、私、名、引、陶、景、注、籍
 或、曰、芋、河、鳧、苳、白、地、栗、剪、刀、州、苗、名、以、蓋、萍、の、訛、あり
 の、訛、也、水、慈、菰、荒、上、救、槎、下、州、蕪、尾、州、以、上、槎、方、本、州、和、名、
 田、酥、録、昆、陵、菰、菇、品、字、酢、實、正、字、苳、菰、會、韻、大、蘇、通、雅、
 蕃、名、ゴ、ロ、ー、ト、セル、ペン、ツ、ト、ン、ゴ

此奈義了ふもの天智紀以下式抄かどみ水葱とのと載
 られくも物今ハ詳み志する人あし母の料家了ふ人み
 四一ハ浮菰の事よと公然み答へ子されど万葉集詠酢
 醬蒜調水葱歌み醬酢尔蒜都伎合而鯛願吾尔勿所見水
 葱乃煮物と云えこの浮菰は食物みやするべから
 ぬを州家の説ハ信られ西の州みてハ鳥茅と云みつ
 ろひて慈姑ハ稀なるゆゑそしごとおひつらざり
 しら江門みあぬて酒菜の夢み慈姑と多く料理み心
 つまつ、奈義了ふものハ慈姑みはわらじ欲と程を京
 人みも質しきゆゑ東うどみもすこれが皆前説がぶ

慈姑 シロクサ



蓮 レン



成形圖說卷之二十九

十一

と浮蕃とのと決くいては、芋子姑とも順鈔引唐韻穀
水菜可食也穀音斛玉篇穀又揚氏漢語鈔子水葱奈と出
し輔仁鈔子引七卷食經穀菜一名水葱和名奈岐とん
え和名選みは辭艸云那宜と云に據り當時お慈姑と
ふ文字ハ烏芋クロクマの一子ありてこの奈義も先づき字か
きぐゆるるは辭菜の字擬當て用ひゆさて書紀にも式か
ども水葱とのと奈義と別々としむるは又穀の義ハ没
法の之ちうと云はるは穀の事のみ心つらむるはとの浮
蕃と註しありあるべしさてそ存ハ漢人もむかし烏芋
と慈姑とをば同じ物と誤り混ひて在艸子中一條子記

しるると明の時珍ぞ始て二物子ハ別ち記して在
本艸云茨菰、薺、二種絶二物也水の中子ハ生ぬ
異混、合注、釋為不精也
ども眼を系と絶然異ある物よしありて吾のむかし
ハ同じ物と心得ぬわどに烏芋とシク井と漢と慈姑
はお水葱の字と假用ひしといおわたりし和名妙の
芋ハ芋類子收て水葱ハ水菜類子おやり是時珍ハ烏芋と
慈姑とをば未ご二物子分ざる前ありハ慈姑と烏芋の二名
混ひしあり而水葱の字南方艸水状子據に水葱花葉皆
如鹿葱色有紅黃紫三種出始興婦人懷妊佩其花生男者
即此花非鹿葱也綱目時珍云蒼葱山原平地皆有之生沙
地者名沙葱生水澤者名水葱此水葱かとおわつと此ハ

野山蘭ノヤマランの方こそ近きものにて奈義ナギの河カハじ又穀の
 字ハ唐韻トウオンの水菜可食也と云れハ是慈姑チコの古名也
 と云るべし又穀と辭の字ハ他カはわろし又順抄ジュンシャウ
 にもハサシオモダカにて穀といふなるが故あり又
 綱目救荒コウブ等の水葱ハ今の太蘭タイランあり又田鳥子テンジョウシなどの字
 シワ井シワイと讀せしハ小町溜コマチウの礫レキに熟する破クサ蓮レン子シは白馬
 乃田鳥子ノテンジョウシのと云て注に田鳥子ハくじ井也と云一
 里今按イマアタ子此白ハ慈姑チコにて黒ハ鳥芋トウモロコシありべし
本州集解云皮厚色
黒肉硬而白者謂之猪勃臍皮薄澤色淡然肉軟而脆者謂
之羊勃臍正二月采食之此二等藥中罕用荒歲人多采以
充糧按又猪羊を以て名を分りこれらハ慈姑と鳥芋を
とのハ正白の二種あるべし

共トモ子コくクじジ井イとトいイひヒしシあるべしされど田鳥子と書て
 クワ井クワイと訓ニせしハ鳥芋トウモロコシと主ナホとせしありむさて古
 より才蔬菜サイソウサイとしハ海ウミハ慈姑チコにて今イマの東國トウクニに多くつら
 の用ヨウハしが如くハ内膳式供奉雜菜ウチゼンシキホウバシラサエ芹セリの次ハ水葱ミヅネギ四
 把ハ准ス四シ升シヨウ五ゴ又マタ漬秋菜ヅケアキサイ料リョウハ水葱ミヅネギ十ジュウ石シヨク七シチ升シヨウ糟漬ゾウヅケ小水葱コミヅネギ一
 石シヨク升シヨウ汁ジユ糟ゾウ一イチ斗ト二ニ又マタ營水葱エイミヅネギ一段苗イツタンボウ二十圍ニジュウイ總單功ソウタンク五十三人
 耕地ケウチ二ニ遍ヘン把犁ハキリ一人イチニン馭牛ウシヤク一人イチニン牛ウシ一イチ頭カウ料理リョウリ平和ヘイワ一人イチニン糞コノ百
 二十擔ニジュウタン運單功ウンタンク廿人ニジュウニニン殖功シヨクク十五人ジュウゴニン五ゴ播殖ハクシヨク三度サンタク十五人ジュウゴニン度タク別ベツ
 株功ケツク十五人ジュウゴニン度タク又マタ田タ六段ロクタン二百三十四步ニヒヤクサジュウシヨクフ種タネ片水葱カタミヅネギ料リョウ按アタ子シ
 苗ボウとト云イハれレハハ顆カクとト殖シヨク子シ水ミヅじジ又マタ灌カン腹フツ子シ採功サイクとト云イハるル子シ同ドウし

子ハ葉を採りハナハ草の如きハ極功と云ハ芹の如きハ
 刈功と云リ○一種小水葱コナギ子若ハ菘本艸ハ謂剪刀
 艸也ハナべし万葉代ナレバのこぢが花と云ハ搦スあるハ
 おにく所せり如あし多ハルカスミ春日カの里サト子ウエ葱コナギ花
 可カと云し枝エは分サレ子コあり上毛野カミツケいふ所の沼に植ウエ子コ水葱
 かくこひむとや種タネをタぬらんハナ子コ葱コナギハ草クサなりと云ハ芹セリ
 古事記コト傳ツ子コ葱コナギハ草クサなりと云ハ芹セリ
 同ドウ意イあり万葉代マン通記ツウ子コ奈義ナギハ春ハルの水菜ミヅナ子コて花ハナを
 くとク子コものモノと云えりト解トクる此葱コナギハ草クサの小白花シロハナを
 開ヒくとク淡紫タンシの花ハナさくとク又マタ一種堆葉ツキハの花ハナハ大オホくクて紅

ある者モノ子コ盆種ハチウモおどハしてヒ管ヒ花ハとタ愛ミらるシふシわレ
 ばいハいハ一ヒにニ小コなナぎキの花ハナとト云クハ此コノ号ガクの種タネおどしシと
 志シるルべりベりリ和漢圖會ワカンズイゴウ子コ一種イツ有ア小コ而シテ如ホ獨頭蘭根ドクトランネ者モノ煮ニ
 食シ之ノ味ミ更ニ佳ク撰津次センツジ田村タムラ多出タラシク之ノ細目ホソメ云ク福州別フクシウベツ有ア一種イツ小
 異カ四時采根シヨウサイネと云貝原本艸ハクワ曰クオモダカオモダカ系ケイハ葱シロツクシ姑メ子コ似ニて
 異カハ葉莖葱姑ハナツクシメより小コあり葱シロツクシ姑メ子コ似ニてハ葉ハのハきれキこノ世
 しシハ六月ロクゲツ草クサ白シロ花ハナとト云ク三片ミヘのハ一ヒト種タネ干葉ハナツクシオモダカ菜
 小コ花ハナ干葉ハナツクシ子コてテ白シロ酸醬ハクツクシのハ大オホさサ乃ハ如ホしシ又マタ曰クアギナ
 シハオモダカオモダカの葉ハ子コ似ニてハ小艸コノクサ也ナリ七月シチゲツ白シロ花ハナとト云ク三
 出デあり是コノ小オモダカオモダカ欲ホク是コノ並ナラ子コ古コノ謂イハレ小葱コナギ姑メ子コありベ

真珠船云顏推之家訓云蔡朗父諱純改燕遂呼尊菜為露
 葵王維詩云松下清齋折露葵意謂帶露之葵不指尊菜蓋
 尊非輞川所有宋王諷賦云烹露葵之羹曹植七啓云霜蓄
 露葵語并在葵朗前亦不指尊也
 冬葵子誤の蓋尊龜酉陽雜俎浮菜雅卑
 躡艸以上爾淳菜水芹以上農
 雅翼
 雅尊時珍云春夏嫩莖未葉者名雅尊小也此云
 若藜藜多秋老則名葵尊或作豬尊言可
 豬尊時珍云至秋老則名葵尊或作豬尊言可
 譜雅
 尊名
 油尊正字
 紫尊福州志
 錦帶
 葵尊
 雉尾尊
 芳群

應神紀の歌に依小網池のぬあは緑巡多くとまゝ通澄
 曰依繩乃義あり此の經年の陂塘池沢お生るもの也

淡海の湖言多して味亦強まると長莖莖をて初復の
 頃より嫩子枝毎子忍冬の脂乃おと室朗さる涎滑汁多
 く着く莖ハ水上に浮ぶ符み比ぶしバ楕圓且岐缺かし
 而之嫩子莖と揉く着とし凝脂の煮さる葛粉乃おと
 ずもの此當に味頗清美あり三月あり八月あり氷脂
 多く軟あり即雅尊あり九月あり十月ありむり硬く小
 し若し即猪尊あり垣花ありて遠子に委はべし仲夏蒼
 所の宴に似しりの盤暑子入て六英乃紅花と吐く苜蓿の花
 子視せば稍小し後に宴はほふ中に細子包ゆり子
 小中子墜て自生るもの也○万葉り歌あゝるゆづのた

かしう愛侍ありふ子○秋、増基が幸に乃道記子ぬあふの
 あがきと人乃むてあうできるとして家あふばい
 といひてとらぬあふはるかみくはあつとめては
 し南村までかうきぬあふちとろ云々と契沖の次ハ
 既大和、ふさへかく記してはあしく地の名をいひてく
 下ちりるとうれささわご也 事文類聚云張翰吳郡人齊
 時執權翰謂同郡顧榮語欲去意榮執其手曰吾亦與子採
 南山、嶽、飲三江、水、耳翰因見秋風起乃思吳中菰菜羹羹鑿
 魚、鱠、曰人生貴得適志何能羈官數千里以要名爵乎遂命
 駕、歸、古人傑、然敵愾の風今は希と亦うれささわご子そ
 ○圖書集成引因話錄云千里、尊羹未下、乃地、名此、二、處、産、此、物、
 煮、尊羹、非也、蓋未、字、誤、書、為、未、下、乃、地、名、此、二、處、産、此、物、
 氣味甘性冷、て毒れし○主治腸胃を厚し水と逐ふ

和サロ 佐備は和名鈔○字鏡子萬と和左と
 とは此ののナスビとわすととふては此の
 教み作葉とのお根の幹と葉とさやの例をみ
 法にワツサイとくかどと云ひあふの落快あると
 サく或はワツサイととと云ひあふの落快あると
 山葵 ○本州和名引崔禹錫食經山葵葉似葵故漢語鈔用山
 薑、二字、所出未詳とあるて其形状と著比今補仁の沙
 子控に明り出未詳とあるて其形状と著比今補仁の沙
 焯齊民要術音罕味辛○六書故草俗作焯○正字通云別
 とは焯同焯尤誤皆草字之訛按子草食物本州子辣米菜
 刃えぬ焯菜 ○焯亦作種焯字之訛 山芥菜 全書
 ○浙江通志焯 水芥菜 本州荒
 蕃名ドロニキム

和佐備ハ山州の葉子ツクの尤タカものあり今イマニ荒アハ蕪ウ子コ周シユ
 ばは哉内ハ安藝ヤあり致チし東藩ハ強河地方キヤクワあり輸イタ以テ此コト
 その山潤水石シヨク清キヨクく潤ニある家イヘに生ナひ好コト子内膳式ニシヤク收ウケ賀ガ殿テン
 擬供御ニミツケの中若狹越前丹後但馬因幡等ニの諸国凡ニ一年の
 中各國所貢の山薑シヤウキヤウ並ニ一斗五升三度づと載ノられ著
 同集 陸奥河院侍位の時取ト人末重丹波ニ公業原乃侍
 厨代ニ侍進の為子下ニする時件乃ニくあやに山河
 その山にわさび多くおひゆるせとて取トみはうりき
 了トおどるるるり此等ハいみしニ一和佐備ニの産ニて置キしき
 土地トぢららるる東北ハオホ産トく西葡ハオホ産トし
 郡次ニ本山ニ中ニあり

生ナのノ葉ハのノ甚ニ美シ子コ也ヤ此コトあり肥ヒの球キウ摩マ郡クニ内ニ子コつツゞヅ子コて
 ハ沸ヒ泉センのノ清キヨク冷レイのノ冬フユ此コト月ツキハ流リ一ヒト暖ナク小コ川カハとトあリるル水ミヅ勢セキ盛セイなり
 水ミヅ旁ナリのノ石イシ縫ヌイと相アイてテ緑キナ苔ケとトあリるル菜ナとト移ユ我ガおト好コト科カ小コ
 了ト南ミナミのノ力チカラとト掘ウてテ捕ツ除ノとトいハどトのノ宵ヨイのノ間マ子コ生ナとト出デるル
 之ノとト物モノのノ土ツチにニ踏フ辛カラシのノ氣キりリのノ虫ムシとト化カ生ナがガのノ葉ハ
 ハ款クワン冬フユ子コ宵ヨイてテ細ホソ紋モンあり夏ナツ月ツキとト握ウしシ此コト辨ハ此コト小コ子コ白シロ
 花ハナとト看ミ其ノ形カタチ恰シカとト種タネ浸シ花ハナしシて根ネハ亦モ款クワン冬フユ子コ類ルイて也ヤ
 く硬カタクく色イロ多タし味アジ辛カラシて芬カサリあり口裏クチウラと清サハヤカ爽スみし或モハ鼻ハナ目メ
 子コ帰カヘ内ニにニ至ツる薑シヤウキヤウ擦サとト以テ泥ドロとトあリし魚イサ生ナみ入イ壺ヒヤク子コ如ニて
 完マ美ミ好コトありと薑シヤウキヤウ椒カシ子コ如ニぶるル西セ土ツチみミ崔サイ禹ウ錫シヤク

辣米菜 カダカナ



岳芥 タケカラシ



山葵 ワサビ

の傳へし山葵の名、すえど宋の楊廷秀が金華詩、裏初
相識と云ふと波方古名乃詳あゝぬをしるべし
其後此ものみは東垣の食物本草に焯菜味辛生山谷泉
石間根葉皆可食根尤佳○又山谷云孫嶧以砂卧焯食其
苗○六書故云艸生山澗根辛芬可道○臨桂雜識云焯菜
根白色柔脆質類地黄味辛辣性温出溪澗中○八閩通志
云朱晦庵和劉屏山食焯詩小艸有辣性托根寒澗幽懦夫
曾一嘖感憤不能休○林洪山家清供云朱晦庵飲後以草
菜供蔬叶江嚴陵人皆喜食之楊廷秀が謝送焯菜詩に學
琴自有譜相鶴自有經蔬經我繙盡不見焯菜名金華詩裏

初相識王友尊前每相憶坐令芥孫姜子芽一見風流俱避
席取士取名多失真向來許靖亦誤人君不見鄭花不得半
山句却參魯直稱門生以上皆和佐備の事あり川芥岳芥
和佐備共子同しく一種の物あり但根葉の異ありの
と西土みてハ都て焯と以て呼ぶに似たり救荒本草
の山芥菜と和佐備とぞおわらぬ
氣味辛く温みし毒あり○主治鬱と散し風と逐い濕
と澁し積と消し瘡と下次最七病の劑とし急をの毒と
蕎麩の毒と解かり
鑑食

ハ高立^{タカクダテ}る菜の名^ナみして又辛辣^{カラシ}の氣^キありと云^{イハ}ふ此^{コノ}と云^{イハ}ふ
 川^{カハ}ノカナとは味^{アジ}びしき^シん^ン但^タ西^セ州^{シュ}のみて冬^{フユ}菘^{ジュ}の一^{ヒト}種^{シユ}子^コ
 辛^{カラシ}き^キが^ガ菜^{サイ}の^ノ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ルが^ガ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ルが^ガ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ル
 夕^タカ^カナ^ナと^トは^ハ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ルが^ガ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ル
 し^シカ^カナ^ナと^トは^ハ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ルが^ガ味^{アジ}は^ハ辛^{カラシ}く^クす^スる^ル
 是^{コノ}と^ト田^タ子^コと^ト名^ナて^テ七^{シチ}種^{シュ}菜^{サイ}に^ニ入^イる^ルも^モ四^シ字^ジ淡^{タン}の^ノ川^{カハ}菜^{サイ}と^ト名^ナ
 る^ル小^コ回^{カエ}しく^ク芥^{カイ}子^コ多^タ水^{スイ}味^{アジ}の^ノに^ニお^オれ^レ者^{モノ}ハ^ハ互^{タガヒ}子^コ擦^{スリ}用^{ヨウ}し^シ
 ぶ^ブお^オわ^ワる^ルは^ハ○^{マル}此^{コノ}を^ヲの^ノ川^{カハ}上^ノに^ニ生^{オエ}す^ス冬^{フユ}月^{ツキ}あり^リ菜^{サイ}と^ト布^{フキ}て^テ叢^{ササ}
 生^{ナマ}す^ス紫^{ムラサキ}ハ^ハ沙^サ蘇^ソ子^コ水^{スイ}味^{アジ}の^ノに^ニお^オれ^レ者^{モノ}ハ^ハ互^{タガヒ}子^コ擦^{スリ}用^{ヨウ}し^シ
 是^{コノ}春^{ハル}月^{ツキ}に^ニむ^ムり^リて^テ菜^{サイ}と^トい^イふ^フと^ト僅^{ワザ}み^ミ三^{サン}四^シ寸^{スン}お^オか^カさ^サず^ズ候^ケ
 地^チの^ノハ^ハ二^ニ月^{ツキ}花^{ハナ}る^ルと^ト云^{イハ}ふ地^チの^ノハ^ハ三^{サン}四^シ月^{ツキ}に^ニ開^ヒく^クと^ト云^{イハ}ふ花^{ハナ}嫩^{ウツク}き^キく

て^テ後^{ノチ}白^{シロ}く^クか^カた^タる^ル角^{カド}と^ト結^{ムス}ぶ^ブ長^{ナガ}子^コの^ノハ^ハ二^ニ寸^{スン}お^オ脚^ケ身^ミを^ヲ中^{ナカ}
 小^コ子^コの^ノハ^ハ三^{サン}寸^{スン}お^オ脚^ケ身^ミを^ヲ中^{ナカ}
 此^{コノ}菜^{サイ}の^ノ嫩^{ウツク}時^{トキ}根^ネを^ヲつ^ツら^ラ洗^{ソウ}じ^ジす^スひ^ヒと^トし^シ擦^{スリ}て^テ種^{シユ}と^ト青^{アヲ}汁^{ジュ}
 と^ト絞^{シヨ}り^リす^スり^リ酢^{スウ}豆^{トウ}油^ユを^ヲ浸^ヒて^テ生^{オエ}食^シし^シ或^シハ^ハ壅^{オウ}子^コ加^カ一^{ヒト}膾^{カイ}に^ニ加^カ
 くれ^{クレ}バ^バそ^ソの^ノ青^{アヲ}翠^{スイ}鮮^{セン}み^ミ美^ミし^シ或^シハ^ハ研^{ケン}碎^{サイ}て^テ火^ヒに^ニ焙^ヒき^キは^ハ辛^{カラシ}
 く^ク香^{カホ}しく^ク人^{ヒト}の^ノ口^{クチ}を^ヲ爽^{サカ}み^ミに^ニ
 香味^{カウキ}辛辣^{カラシ}み^ミして^テ湯^ユを^ヲ煮^ニか^カす^ス毒^{ドク}を^ヲし^シ生^{オエ}食^シして^テ胸^{ムネ}膈^{カク}の^ノ滯^{トヨ}氣^キを^ヲ
 利^リし^シ飲^{イン}食^シを^ヲ消^{シヨウ}後^{ノチ}乃^ハ冷^{レイ}音^{オン}と^ト去^クる^ル西^セ州^{シュ}の^ノ俗^{ソク}積^{シヨク}塊^{クワイ}あり^リと
 の^ノ多^タく^ク其^ノ端^ヘを^ヲ切^キり^リと^ト多^タし^シ味^{アジ}が^ガ子^コ軟^{カン}く^ク有^アる^ルし^シ
 岳^{タケ}芥^{カイ}

一種の川菜あり必高山清水の石上に生る也回野家園
 子クニヒ在赤と罕ヒレ葉子仍て名と好む其上野クニヒ確ヒレ氷ヒレ紀伊那智
 山阿のハ本藩高尾山中此ものハ其莖直立フクダチあり水青
 也葉子その状ハ燈心ジニクサ龍剪ホソカの属タリヒ子似て多くハ一莖あり
 葉と出し間ミ子小枝と分つものあり葉水芥カマカナ菜子類ニて青
 く翠ミドリを以夏月莖クキサキ既に四瓣ヨヒラ乃白蘇と著ツケサヤ莖と好ぶ子漸く
 に嘆ミ上あり種タネのぶとくわの子も其根も並タネ種タネ没ボク花ハナ子
 葉ありど莖イタクカラキ其味辛辣あり梅子六書故云葎菜好生高
 山泉源石上與石菖蒲一類又云艸生潤根辛芬可茹又正
 字通子葎艸生山澤如蒲黄葉如芥以上の諸説皆岳タケカサ芬シの

輩ウサビありづし山葵の漢名子照ナラし乃ナラ其ナラもの人ナラ家ナラ子移ウツシ栽
 て生活ウツキぐさし濃白愛カレ瓊ユシとぐく塵チ烟エン弟フ度レヨ子シ枝シ以レべレら
 以レ又レ一レ奇キ艸シあり○主治チいまぐチ種タネありどといへど種タネ
 浸ツケ花ハナの効ヒキと異カとナなり

成形圖說卷之二十九終

